

破天荒

教宣部

5070号

2019年

7月31日

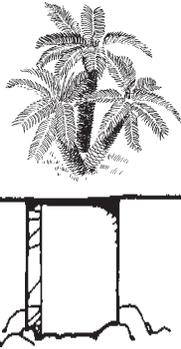
化学一般京滋地本
全竹中労働組合



竹中システム従業員代表選挙 組合員の松林さん当選

お知らせ

新入組合研修会
10月11日(金)
18:50 ~ 20:00
労館4F第8会議室



システムの従業員代表選挙が火曜日
に行われ、組合員の松林さんが当選し
ました。

公正な選挙

現在、システム・オプトでは従業員代表が残業の協定(二六協定)や就業規則改訂の意見書に押印、意見を会社に伝えたりしています。

契約社員・嘱託社員・正社員・管理職も含めた投票者数で十一対七の得票を得ました。

今年四月の労基法施行規則改正により労働者代表の要件に「使用者の意向に基づき選出された者でないこと」が新たに追加されまし

た。

システムで偉いなあと
思ったのは法を守り会社が
「君やってくれないか」とい
うのではなく世間一般的な

古参の協力工場さんは：

『(設備や道具、工具に治具、副資材など)必要な物は全て竹中が用意する。その代わり、製作工賃のみを計算し、その金額で製品を作る』と云う約束で始まった』と云う話は、社歴の古い方なら誰でも御存知の内容です。この大前提が、製作工賃の根拠であり、現在の製品価格に大きく反映されている訳ですが、その古参の協力工場さんから『必要な物は全て竹中が用意する』と云う約束にも関わらず、『ウチ(竹中)で

公募をし、「 に入れな
かったらわかっているんやろ
な？」と陰で指図をしな
かったことかもしれない。
また投票する人も付度する
事なく投票できたこと。そ
んなあたり前のことができ
たのは素晴らしいことだと
思います。

オプトでは

同じくオプトでも従業員代表を選出していますが、組合員が空白の期間に協約が無くなり就業規則が大きく変更されました。労働条件も組合員は残業食代が出る・他の人はカップ麺、福利厚生旅行は組合員は3万円・そうでない人は参加した場合にのみ旅行3万5千+忘年会8千と差があります。(新しくオプト社長に就任された竹中会長の提案でした)。オプトでも公正な選挙が望まれます。

電子では

代表選挙をしていますが、組合が三六協定などを締結しています。代表の責任範囲が契約社員まで及ぶことを意識して組合員はいいませんが、最低賃金をあげてくださいとか要求しています。

働き方改革法案以前の問題らしいですが、契約社員の人間ドック受診に関して休日に行かせるとか本人の年休を使用して行かせるのは法律違反ですよと次の秋闘では交渉しようと思っ
ています。



約 束

買うべき(支給する)物じゃないです。』とか『御社で仕入れるのが普通です。』とか、最初の約束を『私(が)約束した訳じゃない!』とばかりに一般論を掲げ、知らぬ存ぜぬを押し通そうとしている』と聞きました。N Oと言えない協力工場さんの立場につけ込んだ酷い話
しです。

竹中相談役が電子工業の社長と云うバトンを宇野社長へ渡したのが三十数年前?の事。そこから、宇野社長 角田社長 林社長 海住社長と5代に渡っており

ますが、ある時期から、約束事や決めごとが反故にされだしております。その「ある時期」とは、弊社はオーナー企業です。雇われ社長よりオーナーさんの意向が強いのは自明の理。どう取り繕っても2代目オーナーさんの就任からです。社長はスケープゴート。
今日まで共に歩んで来たパートナーに、この様な無慈悲な扱いをするとは、私は心が締め付けられる思い
で一杯です。

天声竹語

・人間は本来働きたいもの。働くことを邪魔しないことが、一番上手いひとの使い方である。(松下幸之助)
・人の言に耳を傾けない態度は、自ら求めて心を貧困にするようなものである。(松下幸之助)
・モノは頭でなく、手で作れ。(本田宗一郎)